11. 外部各委員会報告

⑴　第1回道立特別支援学校等結核対策委員会[12月10日(木)]について（榊山常任理事）

委員長に小職が、副委員長に山口委員（道健康安全室医療参事）が選出された。その後、制度の概要が説明され、引き続き、平成21年度道立特別支援学校等における結核対策の検討などについて協議した。

⑵　第2回北海道看護職員確保モデル事業検討会[12月14日(月)]について（北野常任理事）

北海道看護職員確保モデル事業の研修施設数や受講者数などについて報告があった。その後、平成21年度未就業看護職員の臨床実務研修の開催要綱について説明があり、研修の評価などについて協議した。

⑶　北海道介護保険審査会全体会議・審査会（三者代表合議体）[12月15日(火)]について（前川常任理事）

全体会議において、会長に小職が選出された。続いて各委員所属の合議体の確認があり、その後、事務局より昨年の審査請求状況について説明が行われた。審査会では、保険料その他の徴収金に関する処分7件の審査が行われた。

⑷　第4回北海道がん対策推進協議会[12月17日(木)]について（長瀬会長）

平成21年度がんのタウンミーティング開催状況、女性特有のがん検診推進事業の実施状況、地域がん登録の見直し、などについての報告の後、がんによる死亡者を減少させ、がん検診の受診率を向上させるための、がん検診受診促進企業連携委託事業について、また、北海道がん対策推進計画を推進するため、がん医療対策、たばこ対策、がん検診対策の取組みについて協議した。

⑸　北海道小児救急医療体制整備推進協議会[12月18日(金)]について（三戸常任理事）

これからの小児救急医療体制の整備について議論し、その後、小児救急電話相談事業について検討した。

12. 中央情勢報告（直江常任理事）

平成22年度予算編成に関し、本年6月の財政制度審議会の「基本的考え方」の建議が源流にあることからその内容と問題点、また、事業仕分け、社会保障費・医療費の方向性等について詳細に解説した。

13. 各部報告

⑴　漢方薬の保険適用除外について（藤原常任理事）

行政刷新会議の事業仕分けにおいて、「市販品類似薬は保険外とする」方向性が出され、日本東洋医学会をはじめ、会員各位からも懸念の声が上がっている。類似薬が市販されているという理由で、漢方薬が保険適用から除外されると患者の負担は急増し、除外対象がさらに拡大されれば、さまざまな混乱を来たすこととなる。こうしたことから、12月19日(土)医療保険部担当理事会にて検討した結果、「漢方薬の保険適用除外」には反対であり、「行政刷新会議の事業仕分けに」ついて、医療政策部と連携し、道医としての意見を表明していきたい。

⑵　日本医師会生涯教育制度について（渡邊常任理事）

栃木県医師会から、22年度より改定される標記制度に関し、同年4月より実施するかどうかアンケートがきているが、「検討中」と回答することとした。

14. その他

⑴　北海道認知症対策検討委員会報告書について（前川常任理事）

当委員会では、23年度中に策定する第5期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画へ反映させるべく、認知症対策について、22年度末までに総合的に調査、検討の上、その結果を報告書としてとりまとめることになっている。この度中間報告的位置付けで、短期的取組みとして、喫緊に取り組むべき課題を中心にとりまとめた報告書を作成した。

道総医協関連事項（三宅副会長）

1.　地域医療専門委員会「地域医療再生基金」について（宮本副委員長）

北海道から提出した計画に対し、北網および南檜山の2圏域について国から計50億円の交付内示があったことが報告された。

新規指定医療機関

平成21年12月1日

医療機関名称	所在地・電話番号	開設者・管理者氏名
札幌北クリニック	001-0018　札幌市北区北18条西2丁目1番地10号 ☎011-747-7157	大平　整爾